2019 年度後期全学教育機構「学生による授業アンケート」の結果

信州大学全学教育機構点検評価委員会

全学教育機構では、2019 年度後期に中間アンケートを行い、学生の要望を確認し、後半の授業が行われた。本結果は期末に実施されたアンケート結果に基づくものである。 2019 年度後期期末「学生による授業アンケート」は、以下の2とおりの方法により実

- 施された。 a. 総合人間科学系所属及び松本地区非常勤講師の各教員が担当する授業,教養ゼミナ
 - b. a 以外の授業科目を対象としてウェブ上で記入する。 アンケートの質問項目は、用紙・ウェブともに以下のとおりである。

<アンケート質問項目>

1. 必修・選択の別を記入して下さい。(2択) ※1. の選択肢(必修,選択)

ール群の授業について、授業中に用紙に記入する。

- 2. この授業が掲げた目標に、あなたは到達しましたか。(5択)
- 3. 学習を進める上で、シラバスは役に立ちましたか。(5択)
- 4. 内容を理解する上で適切な授業外学習が課されていましたか。(5択)
- 5. この授業のために、あなたは一週間あたりどのくらい授業外で学習しましたか。 (5 択) ※5. の選択肢 (3 時間以上, 2 時間以上 3 時間未満, 1 時間以上 2 時間未満, 30 分以上 1 時間未満, 30 分 未満)
- 6. この授業に対するあなたの態度は良かったですか(欠席をしない,課題等を期限内に提出する,私語・居眠りをしない,質問するなど,積極的に受講しましたか)。(5択)
- 7. あなたは、この授業の一連の経験を通して、達成感を得られましたか。 (5択)
- 8. この授業を受けて、あなたができるようになったことや学んだことを書いてください。(自由記述)
- 9. この授業を受けて、あなたにとってもっとも価値があったもの・ことを書いてください。(自由記述)
- 10. 教員は、熱意・意欲をもって授業を行っていましたか。 (5択)
- 11. 教員の話し方は、明瞭で聞き取りやすかったですか。 (5択)
- 12. 教員は、板書・資料・スクリーン等を見やすく示していましたか。 (5択)
- 13. 教員は、シラバスの各項目に沿って授業をしましたか。(5択)
- 14. 教員は、学生の理解度を確認(小テスト、リアクションペーパー、口頭など)しながら進めましたか。 (5択)
- 15. この授業について、改善すべきと思う事、教員が工夫をしていると思う事、その他、意見、要望等がありましたら、書いてください(自由記述)

アンケートの結果は、部門長および点検評価委員が内容について検討・解析した。以下 に回答について、科目群ごとにその結果を報告する。 (用紙を使ったアンケートの結果に ついても、ウェブに取り込んで集計されている。)

1. はじめに

2019 年度後期期末アンケートは、全学教育機構で実施されるすべての授業を受講する延べ 16,749 人の学生を対象として実施された。原則として、総合人間科学系の教員が担当する授業に関しては紙媒体で、その他の部局の教員の授業においてはウェブサイト上で実施した。その結果、対象延べ人数の60%に当たる延べ 9,985 名から回答を得た。

アンケート項目は、前ページの枠内の15項目である。そのうち、項目1~9は高等教育研究センターが設定した項目で、主として学生自身に関する質問である。項目10~15は学生から見た授業および教員に関する質問である。

自由記述である項目 8・9・15 を除いた項目を数値化して、以下の図 1~3 のように、講義科目・演習科目・外国語科目の 3 つの授業形態に大別して集計した。さらに、それぞれを構成する科目群ごとに傾向を解析し、授業外の学習時間に注目しながら、重要と思われる特徴について記述した。

アンケート結果の分析に際して、「達成感(設問7)と教員の熱意・意欲(設問10)」、「達成感(設問7)とクラスサイズ(受講登録者数)」、「達成感(設問7)と授業外学習時間(設問5)」など、アンケート結果の5項目間の相関関係を参考にした。

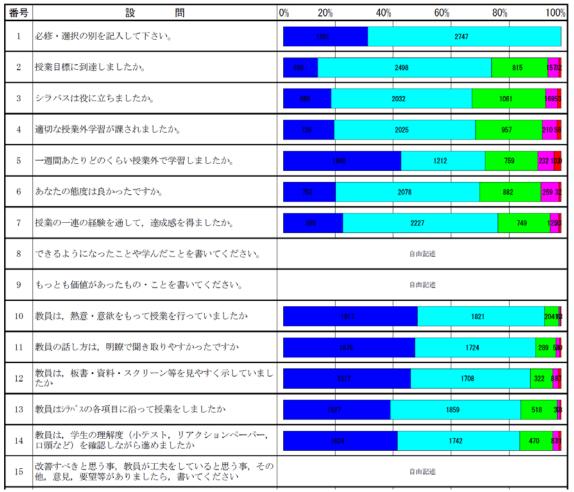
図1【講義科目】

「授業アンケート」学部別集計表

対象部局: 共通教育(全学教育機構)

開講年度: 平成31年度 対象期間:後期 授業種別:講義

集計人数(実数):386 人



青:強くそう思う,水色:そう思う,緑:どちらでもない,ピンク:そう思わない,赤:全くそう思わない

※1. の選択肢 青: 必修, 水色: 選択

※5. の選択肢 青:30 分未満, 水色:30 分以上~1 時間未満, 緑:1 時間以上~2 時間未満, ピンク: 2 時間以上~3 時間未満, 赤:3 時間以上

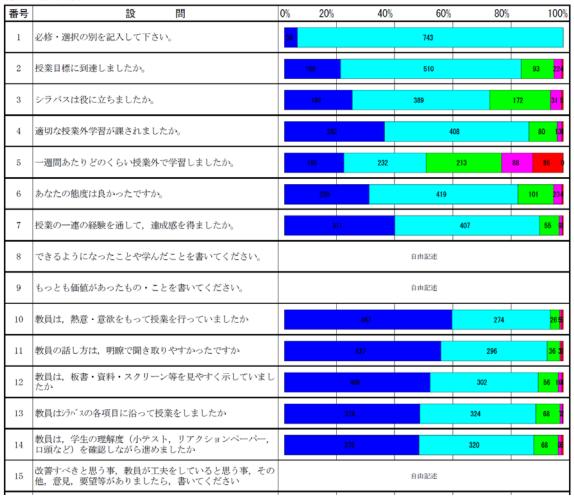
図2【演習科目】

「授業アンケート」学部別集計表

対象部局: 共通教育(全学教育機構)

開講年度: 平成31年度 対象期間:後期 授業種別:演習

集計人数(実数):59 人



青:強くそう思う、水色:そう思う、緑:どちらでもない、ピンク:そう思わない、赤:全くそう思わない

※1. の選択肢 青: 必修, 水色: 選択

%5. の選択肢 青:30 分未満,水色:30 分以上 \sim 1 時間未満,緑:1 時間以上 \sim 2 時間未満,ピンク: 2 時間以上 \sim 3 時間未満,赤:3 時間以上

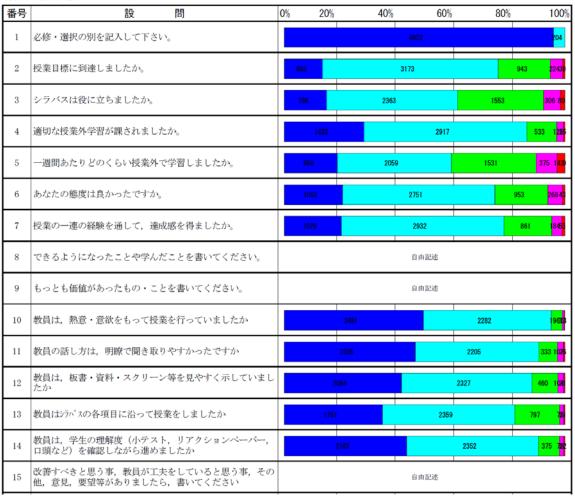
図3【外国語科目】

「授業アンケート」学部別集計表

対象部局: 共通教育(全学教育機構)

開講年度: 平成31年度 対象期間:後期 授業種別:外国語

集計人数(実数):413 人



青:強くそう思う、水色:そう思う、緑:どちらでもない、ピンク:そう思わない、赤:全くそう思わない

※1. の選択肢 青: 必修, 水色: 選択

※5. の選択肢 青:30 分未満,水色:30 分以上~1 時間未満,緑:1 時間以上~2 時間未満,ピンク: 2 時間以上~3 時間未満,赤:3 時間以上

2. 教養科目

[教養ゼミナール群]

教養ゼミナール群では、半数の学生が 1 週間で 1 時間以上の授業外学習を行なっていて、ほとんどの他科目群を上回っているのが特徴である。

「達成感」と「教員の熱意・意欲」,「適切な授業外学習時間が課されていたか」には相関関係が見られた。その他「クラスサイズ(受講登録者数)」と「達成感」,「適切な授業外学習時間が課されていたか」と「授業外学習時間」,「授業外学習時間」と「達成感」には相関関係は見出せなかった。



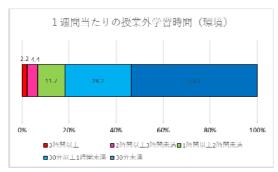


[環境科学群]

環境科学群の結果は、ほぼすべての調査項目において、講義科目全体の傾向とほぼ一致している。 ただ、1週間当たりの「授業外学習時間」は約82%の学生が1時間未満となっている。その中にあって、学生の「目標への到達」および「達成感」のポイントが高い授業も見出され、その授業においては「適切な授業外学習時間が課されていたか」のポイントが高いことが注目される。

「達成感」と「教員の熱意・意欲」、「適切な授業外学習時間が課されていたか」と「授業外学習時間」との間には一定の相関関係がみられた。一方、「クラスサイズ(受講登録者数)」と「達成感」との間には相関関係は見出されない。



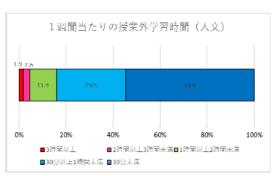


「人文科学群]

人文科学群では、ほぼすべての調査項目において、講義科目全体の結果と一致している。1週間当たりの「授業外学習時間」は85%近くの学生が1時間未満となっている。

「達成感」と「適切な授業外学習時間が課されていたか」及び「適切な授業外学習時間が課されていたか」と「授業外学習時間」との間には高い相関関係がみられた。また「達成感」と「教員の熱意・意欲」、「授業外学習時間」にも相関関係が見られたが、「クラスサイズ(受講登録者数)」と「達成感」には相関関係は見出せなかった。

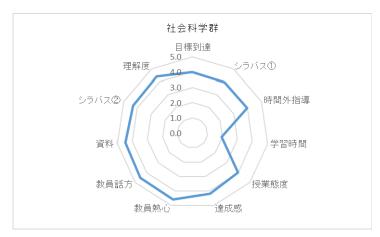


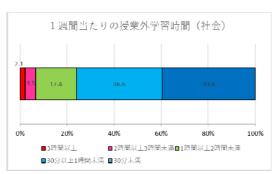


[社会科学群]

社会科学群では、ほぼすべての調査項目において、講義科目全体の結果と一致している。1週間当たりの「授業外学習時間」は、約76%の学生が1時間未満となっている。

「達成感」と「教員の熱意・意欲」には高い相関関係が見られた。「適切な授業外学習時間が課されていたか」と「達成感」,「授業外学習時間」には相関関係が見られたが,「クラスサイズ(受講登録者数)」と「達成感」及び「授業外学習時間」と「達成感」には相関関係は見出せなかった。



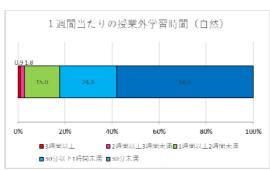


「自然科学群]

自然科学群では、ほぼすべての調査項目において、講義科目全体の結果と一致している。ただ、1週間当たりの「授業外学習時間」は約82%の学生が1時間未満となっている。

「達成感」と「教員の熱意・意欲」,「適切な授業外学習時間が課されていたか」との間にはある程度の相関関係が認められる。「適切な授業外学習時間が課されていたか」と、学生が実際に行った「授業外学習時間」との間では相関関係が明らかである。「クラスサイズ(受講登録者数)」と「達成感」との間には相関関係は見出されない。



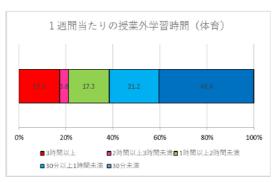


[体育・スポーツ群]

体育・スポーツ群ではほぼすべての調査項目において、講義科目全体の結果と一致している。1週間当たりの「授業外学習時間」は、約61%の学生が1時間未満となっているが、約21%が2時間以上となっており、教養ゼミナール群と同様に長い。

相関関係については、アンケート対象科目数が少ないため検討できない。





3. 外国語科目

[英語]

英語1年次総括

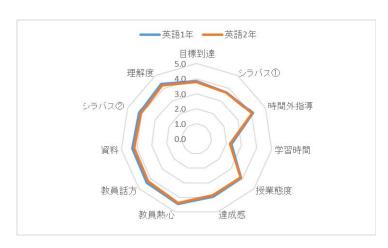
1 年次の英語では、ほぼすべての調査項目において、外国語科目全体の結果とほぼ一致している。1 週間当たりの「授業外学習時間」は約61%の学生が1時間未満となっている。

「達成感」と「教員の熱意・意欲」及び「達成感」と「適切な授業外学習時間が課されていたか」との間に高い相関関係が認められる。また、「適切な授業外学習時間が課されていたか」と「授業外学習時間」との間に相関関係が認められる。「クラスサイズ(受講登録者数)」と「達成感」及び「達成感」と「授業外学習時間」との間には相関関係は見出せない。

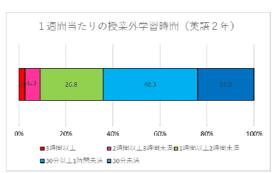
英語 2 年次総括

2 年次の英語では、ほとんどの調査項目において、外国語科目全体の結果とほぼ一致している。1 週間当たりの「授業外学習時間」は約64%の学生が1時間未満となっている。

「達成感」と「教員の熱意・意欲」との相関関係は、外国語科目全体と同様に高い相関関係を示している。「達成感」と「適切な授業外学習時間が課されていたか」との間に相関関係が認められる。「クラスサイズ(受講登録者数)」と「達成感」及び「適切な授業外学習時間が課されていたか」と「授業外学習時間」、「達成感」と「授業外学習時間」との間には相関関係は見出せない。





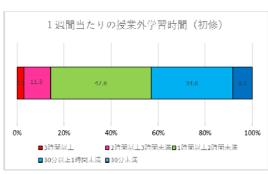


「初修外国語」

初修外国語では、ほとんどの調査項目において、外国語科目全体の結果とほぼ一致している。1週間当たりの「授業外学習時間」は約43%の学生が1時間未満となっているが、約14%の学生が2時間以上となっており、外国語科目の中で学習時間が最も長い。

ただし、「達成感」と「適切な授業外学習時間が課されていたか」及び「達成感」と「教員の熱意・意欲」との間に高い相関関係が認められる。「適切な授業外学習時間が課されていたか」と「授業外学習時間」には若干の相関関係が認められる。「クラスサイズ(受講登録者数)」と「達成感」、「授業外学習時間」と「達成感」には相関関係は見出せない。

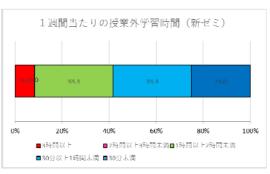




4. 新入生ゼミナール科目

新入生ゼミナール科目では、1週間当たりの「授業外学習時間」は約58%が1時間未満であった。 相関関係については、対象科目数が少ないため検討できない。



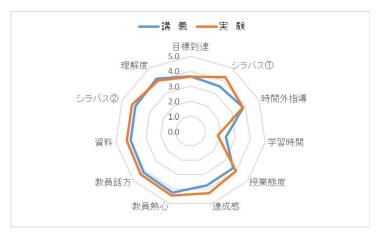


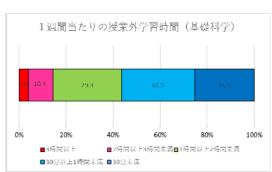
5. 基礎科学科目

基礎科学科目の講義科目では、多くの調査項目において、ポイントは講義科目全体の傾向にほぼ一致している。ただし、すべての科目と比較して、学生が行った「授業外学習時間」は講義科目としては最も長く、1週間あたり1時間以上の場合が全体の約43%である。

他の講義科目と比較すると、「達成感」に関するポイントが低い。一方で、学生が行った「授業外学習時間」が他の講義科目を上回っていることを考えると、学生が努力をしても結果が伴っていないという感想を抱いていることがうかがえる。

「達成感」と学生が感じる「教員の熱意・意欲」、および「適切な授業外学習時間が課されていたか」と「授業外学習時間」との間には明らかな相関関係が認められる。「クラスサイズ(受講登録者数)」と「達成感」との間には、相関関係は認められない。





6. まとめ

講義科目,演習科目,外国語科目に大別した集計結果(図1~3)から,演習科目において「授業外学習時間」,「受講態度」,「達成感」などの項目で肯定的なポイントがもっとも高い。外国語科目においても、学生が行う「授業外学習時間」のポイントが高い。

各科目群の11項目に関する回答の傾向は、以下のレーダーチャートのように、科目群間ではほぼ同じ傾向を示す。大学設置基準によって必要とされる授業時間の3倍の予習・復習時間を基準とすると、これまで同様、「授業外学習時間」が他の項目と比較して大きく下回る結果となっている。

教養ゼミナール群では、他の科目群と比較して「授業外学習時間」が明らかに長いほか、学生が感じる「達成感」のポイントがもっとも高い。体育実技科目においてもこの傾向が認められる。

教養科目の講義科目では、環境・人文・社会・自然の各科目群において回答は同じ傾向を示している。「適切な授業外学習時間が課されていたか」および「授業外学習時間」のポイントが低いほか、 学生が感じた「達成感」もやや低い。ただし、大人数授業でも学生が高い達成感を得ている例もあり、 教員の工夫がうかがえる。

体育・スポーツ群では、とくに学生の「達成感」および「受講態度」に関するポイントが高い。 英語科目(1・2年次)および初修外国語では、ともに、「適切な授業外学習時間が課されていた か」および「授業外学習時間」のポイントが高い。

基礎科学科目の講義科目では学生の「授業外学習時間」のポイントが高い。しかしながら、学生が感じる「達成感」が低いことのほか、「適切な授業外学習時間が課されていたか」の項目のポイントがやや低いことにも留意が必要である。

全体を通して、学生の「達成感」と学生が感じる「教員の熱意・意欲」との間には相関関係が認められる。学生が感じる「教員の熱意・意欲」には科目群の間での差は認められず、全体として熱心な授業が行われていることがうかがえる。

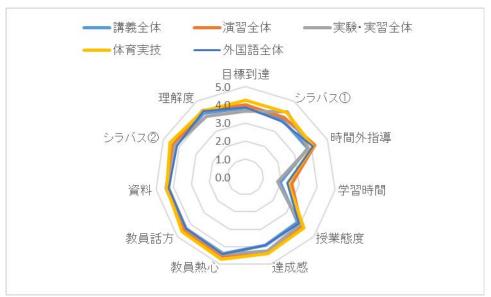
すべての講義科目について、「クラスサイズ(受講登録者数)」と「達成感」との間には相関関係は見出されない。

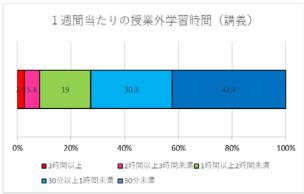
平成30年度の後期に行われたアンケート結果と比較すると、各科目群の各アンケート項目の傾向は類似している。

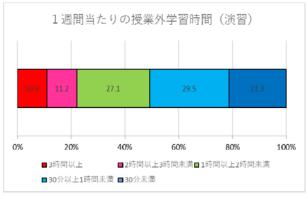
実験・実習科目と体育実技科目において、シラバスが役に立ったとする回答の割合が高い。

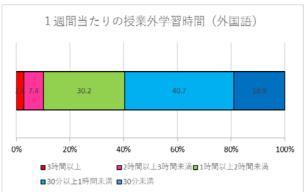
7. 令和2年度以降の授業アンケートについて

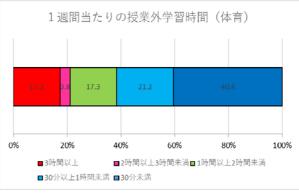
アンケートは、総合人間科学系所属および松本地区非常勤講師の各教員が担当する授業では紙媒体で、それ以外の各学部の教員が担当する授業ではWeb上で実施されている。本報告のデータには示されていないが、紙媒体のアンケートの回答率が約71%であるのに対し、Web上でのアンケートの回答率は約11%で、Web上でのアンケートの回答率は明らかに低い。すべてWeb上でのアンケートとなる令和2年度からは、授業中におけるアンケートへの回答の指示が重要となる。

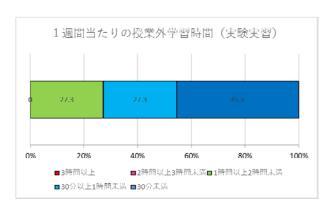












共通教育授業	アンケ-	- ト (20	19後其	月中間)	平均(直一覧					
集計区分		受講登録者 数 (人)	回答者数 (人)	回答率	設問1 適切な 授業外学習	設問2 授業外学習 時間	設問3 教員の熱心度	設問4 教員の話し方	設問5 資料等 見易さ	設問6 シラバスに 沿った授業	設問7 学生の理解度 確認
教養ゼミナール群	演習	1,043	224	21%	4.2	2.5	4.5	4.4	4.3	4.2	4.3
環境科学群	講義	2,049	359	18%	3.7	1.7	4.2	4.1	4.1	4.2	3.9
人文科学群	講義	1,174	193	16%	4.0	1.9	4.4	4.4	4.4	4.2	4.2
社会科学群	講義	1,844	336	18%	3.9	2.0	4.3	4.3	4.2	4.2	4.0
自然科学群	講義	1,490	287	19%	3.8	1.7	4.3	4.2	4.3	4.3	4.0
体育・スポーツ群	体育実技	147	38	26%	3.8	1.7	4.4	4.3	3.9	4.3	4.1
外国語	英語1年	4,272	899	21%	4.1	2.5	4.3	4.2	4.2	4.2	4.2
	英語2年	1,668	195	12%	4.1	2.4	4.4	4.2	4.2	4.2	4.2
	初修外国語	734	125	17%	4.4	2.9	4.5	4.3	4.2	4.3	4.4
新入生ゼミナール科目	演習	205	30	15%	4.3	2.9	4.3	4.3	4.2	4.2	4.1
基礎科学科目	講義	2,643	547	21%	3.9	2.5	4.0	3.9	3.8	4.1	3.9
	実験·実習	13	3	23%	4.0	1.7	4.7	4.7	4.3	4.3	4.3
講義全体		9,200	1,722	19%	3.8	2.0	4.2	4.1	4.1	4.2	4.0
演習全体		1,548	292	19%	4.2	2.4	4.4	4.4	4.3	4.2	4.2
外国語全体		6,674	1,219	18%	4.1	2.5	4.3	4.2	4.2	4.2	4.2
実験·実習全体		13	3	23%	4.0	1.7	4.7	4.7	4.3	4.3	4.3
体育実技		147	38	26%	3.8	1.7	4.4	4.3	3.9	4.3	4.1

共通教育授業	アンケ-	- ト(20	19後其	朋期末)	平均(直一覧										
集計区分		受講登録者 数 (人)	回答者数 (人)	回答率	設問1 必修·選択	設問2 ^{目標への到達}	設問3 シラバスは役 に立ったか	設問4 適切な 授業外学習	設問5 授業外学習 時間	設問6 授業態度	設問7 達成感を得ら れたか	設問10 _{教員の熱心度}	設問11 ^{教員の話し方}	設問12 資料等 見易さ	設問13 シラバスに 沿った授業	設問14 学生の理解度 確認
教養ゼミナール群	演習	924	778	84%	0	4.0	3.9	4.2	2.6	4.1	4.3	4.5	4.5	4.4	4.4	4.4
環境科学群	講義	2049	827	40%	0	3.8	3.9	3.7	1.7	3.8	4.0	4.4	4.4	4.4	4.3	4.1
人文科学群	講義	1310	582	44%	0	3.9	3.9	3.8	1.7	3.9	4.1	4.6	4.5	4.5	4.3	4.4
社会科学群	講義	1778	723	41%	0	4.0	3.9	4.0	1.9	4.0	4.2	4.6	4.5	4.5	4.3	4.4
自然科学群	講義	1391	557	40%	0	3.8	3.9	3.6	1.6	3.7	3.9	4.4	4.4	4.4	4.4	4.2
体育・スポーツ群	体育実技	60	53	88%	0	4.2	4.2	4.1	2.4	4.3	4.4	4.7	4.6	4.4	4.6	4.3
外国語	英語1年	3979	3428	86%	0	3.9	3.7	4.1	2.3	3.9	3.9	4.4	4.4	4.3	4.2	4.3
	英語2年	1837	1154	63%	0	3.8	3.6	4.0	2.2	3.8	3.8	4.4	4.2	4.2	4.0	4.2
	初修外国語	652	517	79%	0	3.8	3.7	4.3	2.7	3.9	4.1	4.5	4.4	4.4	4.3	4.5
新入生ゼミナール科目	演習	138	12	9%	0	3.8	3.9	4.0	2.3	4.3	4.0	4.3	4.2	4.2	4.1	4.1
基礎科学科目	講義	2618	1343	51%	0	3.7	3.6	3.8	2.4	3.7	3.7	4.2	4.1	4.0	4.0	4.1
	実験·実習	13	11	85%	0	3.6	4.3	3.8	1.8	4.0	4.3	4.5	4.4	4.3	4.3	4.0
講義全体		9146	4032	44%	0	3.8	3.8	3.8	2.0	3.8	3.9	4.4	4.4	4.3	4.2	4.2
演習全体		1062	790	74%	0	4.0	3.9	4.2	2.6	4.1	4.3	4.5	4.5	4.4	4.4	4.4
外国語全体		6468	5099	79%	0	3.8	3.7	4.1	2.3	3.9	3.9	4.4	4.3	4.3	4.1	4.3
実験·実習全体		13	11	85%	0	3.6	4.3	3.8	1.8	4.0	4.3	4.5	4.4	4.3	4.3	4.0
体育実技		60	53	88%	0	4.2	4.2	4.1	2.4	4.3	4.4	4.7	4.6	4.4	4.6	4.3